

【研修機関情報】

<法人情報>

学校法人 旭川宝田学園 旭川明成高等学校
旭川市緑町14丁目
理事長 宝田由和子 校長 鹿野哲也

<研修機関情報>

校訓 健而温（おんにしてけん）

教育目標

- (1) 自主～自らすすんで学ぶ
- (2) 礼儀～思いやりの心をもつ
- (3) 挑戦～理想（ゆめ）に向かって努力する

研修施設：教室・福祉実習室

設備：福祉実習室 電動ベッド5台、介助式車いす1台、自走式車いす5台、
ポータブルトイレ5台、バスルームセット1台 他実習に必要な用具

<旭川明成高等学校 介護員養成研修 2級課程 実施規定>

1 研修の目的

[本校学則…第三条、目的]

- ・ 本校（旭川明成高等学校）は、学校教育法に基づき、高等学校教育を施すとともに、国際化社会、情報化社会、高齢化社会で活躍することのできる人間の育成を目的とする。

[本校学則…第四条、教育方針]

- ・ 生徒一人ひとりの個性を伸ばし、国際化社会、情報化社会、高齢化社会に対応できる高い教養を身に付けさせるとともに、国際的に開かれた学校として国際理解教育を推進する。

以上、本校学則を受けて、ホームヘルプサービスの社会的役割や業務内容などの学習を通して、生活を支援する対人援助業務のあり方について理解する。更に、福祉ニーズを有する者の自立生活支援の実際を、演習や実習を通じて、対人援助業務を行う上での実践力を身につけることを目的とする。

2 研修の名称

旭川明成高等学校 福祉エリア選択者による介護員養成研修2級課程

3 研修の要旨

研修課程	事業所の所在地	研修形態	修行年限	研修期間	定員(人)	受講料	受講対象者
2級	旭川市	授業	2年	1年6か月	40	実習費のみ	本学 福祉エリア選択生徒

4 受講の手続き

受講の手続きについては、本校1年生のエリア選択の手順に従い、福祉エリアを希望する生徒を募集する。実習費の納入については、2年次エリアの授業内で詳細な説明をした後、徴収する。

5 カリキュラム

カリキュラム（研修時間数）は別紙1のとおりとする

6 研修の免除

免除は行わない

7 主要テキスト

実教出版 「社会福祉基礎」「社会福祉制度」「基礎介護」

一橋出版 「社会福祉援助技術」

中央法規 「社会福祉実習Ⅰ」「社会福祉実習Ⅱ」

（必要に応じて副教材・(財)長寿社会開発センター 養成研修テキスト等を使用）

8 修了認定

(1) 出欠の確認方法

各教科の開始前に出欠確認を行う。

(2) 成績の評定方法

1～5までの5段階評価で2以上を合格点とする

実習については、成績の評定は行わない

(3) 修了の認定方法

演習・実習については、研修教科のすべてに出席しなければならない。

(4) 修了証明書

修了が認定されたものには、別紙2・3の修了証明書を交付する。

9 補講の取扱い

補講については、課程編成責任者（本校教諭）が授業者と協力して補習課題・レポートなどを課す。

また、補講を実施する。演習科目については、課程編成責任者が補講を実施する。

10 資格授与規定（退学規定）

修了認定・補講の規定などに従って基準に満たない者については、資格を授与しない。

11 講師 については、「講師情報」を参照

12 実習施設 については、「実習施設」を参照

【研修事業情報】

<研修の概要>

旭川明成高等学校 介護員養成研修 2級課程 実施規定「3研修の要旨」参照

<課程責任者>

課程編成責任者：渡邊建司

<研修カリキュラム> ・科目別シラバス 科目（講義）

科目名	社会福祉の基本的な理念及び福祉サービスを提供する際の基本的な考え方に関する講義
目標	社会福祉の基本的な理念を理解するとともに、自立支援の視点などを深く理解する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーションの理念等福祉の理念について ・利用者の自立を支援することについて
時間数	6時間
担当講師	渡邊建司
備考	

科目名	老人保健福祉及び障害者福祉に係る制度及びサービス並びに社会保障制度に関する講義
目標	介護保険制度を中心とした老人保健福祉制度を学ぶと同時に、障害者自立支援法など、障害者（児）に関連した法制度について学習する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の概要、その他老人保健福祉の制度・サービスについて ・障害者福祉制度について
時間数	6時間
担当講師	渡邊建司
備考	

科目名	訪問介護に関する講義
目標	ホームヘルプサービスの役割と業務・職業に対する倫理観について学ぶ
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームヘルプサービスの役割、実際の業務内容について ・ホームヘルパーの職業倫理について
時間数	5時間
担当講師	鴨林真子美
備考	

科目名	老人及び障害者の疾病、障害等に関する講義
目標	介護場面において直面する頻度の多い障害・疾病を理解する。 高齢者や障害者（児）、またはその家族の心理的状況について考え、その援助の方策を探る
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢による老化や認知症など、高齢者特有の疾病について ・高齢者、障害者（児）の心理的背景とコミュニケーションについて ・高齢者や障害者（児）の家族に対する援助とコミュニケーションについて
時間数	14時間
担当講師	阿部めぐみ
備考	

科目名	介護技術に関する講義
目 標	介護の目的、基本原則を学ぶ 介護の方法について、事例検討を通じて学習する 住宅改造や福祉用具についての理解を深める
内 容	自立支援の視点を大切にした介護について 高齢者介護の特徴と障害者介護の特徴について 福祉用具の役割と利用に関する知識、住宅改修の意義について
時 間 数	11時間
担当講師	堀田和代・高橋恵子
備 考	

科目名	家事援助の方法に関する講義
目 標	家事援助の目的と機能を理解し、その方法を学ぶ
内 容	家事援助の目的や方法について 糖尿病、高血圧等に対応する特別食
時 間 数	4時間
担当講師	米坂純香
備 考	

科目名	相談援助に関する講義
目 標	ケアマネジメントの視点とホームヘルパーとして実施するそうだ年所とケア計画立案の方法を学習する
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジメントについて（介護保険制度を含む） ・相談援助の目的と方法について ・ケア計画の立案について
時 間 数	4時間
担当講師	堀田和代
備 考	

科目名	医学等の関連する領域の基礎的な知識に関する講義
目 標	高齢者や障害者の援助に役立つ医学、在宅看護の基礎知識を学ぶ
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な疾患の基礎知識について ・在宅看護の方法について ・リハビリテーションの意義と役割について
時 間 数	8時間
担当講師	阿部めぐみ・渡邊建司
備 考	

科目（演習）

科目名	福祉サービスを提供する際の基本的な態度に対する演習
目 標	サービス利用者との共感的理解の姿勢、態度を演習を通じて身につける。
内 容	受容・傾聴など信頼関係を形成する上で必要な技術について コミュニケーションについて
時 間 数	4時間
担当講師	高橋恵子
備 考	

科目名	介護技術に関する演習
目 標	食事、排泄、入浴、移動・移乗、その他基本的な介護技術を修得する
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服着脱の介護・入浴の介護・体位・姿勢交換の介護（座位保持、褥瘡への対応を含む。） ・肢体不自由者の歩行の介護 ・車椅子への移乗等の介護・車椅子等での移動の介護 ・視覚障害者の歩行の介護・ベットメイキングの方法 ・身体の清潔（清拭、洗髪、口腔ケア等）の方法・緊急時対応法（骨折、火傷、てんかん発作、化学物質による中毒等）等 ・腰痛の予防等援助者の健康管理
時 間 数	30時間
担当講師	高橋恵子・渡邊建司
備 考	

科目名	訪問介護計画の作成等に関する演習
目 標	ケア計画の作成を習得し、記録や報告の方法などを学ぶ
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なケア計画を事例を基に作成する ・実習などの記録の書き方について
時 間 数	5時間
担当講師	渡邊建司
備 考	

科目名	レクリエーションに関する演習
目 標	高齢者や障害者を対象としたレクリエーションを体験的に理解する
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションの視点とプログラム立案について ・レクリエーションを実際に体験する
時 間 数	3時間
担当講師	鴨林真子美
備 考	

<終了評価の方法、評価者、再履修等の基準>

科目別の評価の方法については、各授業担当者の基準とする。

全体の修了評価については、本校定期考査などを参考に課程編成責任者が行う。

再履修は原級留置等本校規定に従って行う。

・各科目別時間数・担当教官

区分	教 科 名	担当教官	時間
講義	福祉理念のケアサービスの意義	渡邊建司	3時間20分
	サービス提供の基本視点	渡邊建司	3時間20分
	老人福祉の制度とサービス	渡邊建司	3時間20分
	障害者(児)福祉の制度とサービス	渡邊建司	3時間20分
	ホームヘルプサービス概論	渡辺慎吾	3時間20分
	ホームヘルパーの職業倫理	渡辺慎吾	2時間30分
	障害・疾病の理解	阿部めぐみ	8時間20分
	高齢者、障害者(児)の心理	阿部めぐみ	3時間20分
	高齢者、障害者(児)等の家族の理解	阿部めぐみ	3時間20分
	介護概論	高橋恵子	3時間20分
	介護事例検討	高橋恵子	4時間10分
	住宅・福祉用具に関する知識	渡辺慎吾	4時間10分
	家事援助の方法	米坂純香	4時間10分
	相談援助とケア計画の方法	高橋恵子	4時間10分
	医学の基礎知識 I	阿部めぐみ	3時間20分
	在宅看護の基礎知識	阿部めぐみ	3時間20分
リハビリテーション医療の基礎知識	渡邊建司	2時間30分	
演習	共感的理解と基本的態度の形成	渡辺慎吾	4時間10分
	基本的介護技術	高橋恵子	30時間
	ケア計画の作成と記録、報告の技術	高橋恵子	6時間
	レクリエーション体験学習	渡辺慎吾	3時間20分
実習	介護実習		16時間
	ホームヘルプサービス同行訪問		8時間
	在宅サービス提供現場見学		6時間
			計 135 時間 50 分

<実習施設>

- ・ 協力実習期間の名称・住所・実習担当者名

設置者名	施設名	介護保険事業	住所	実習指導者
社会福祉法人 旭川三和会	特別養護老人ホーム 緑が丘あさひ園	介護老人福祉施設	旭川市緑が丘 東1条2丁目1-21	谷山尚美
社会福祉法人 慶友会	特別養護老人ホーム 養生の杜カムイ	介護老人福祉施設	旭川市永山町 5丁目136-1	千葉敬子
医療法人社団 慶友会	老人保健施設 さくら館	介護老人保健施設	旭川市4条 西4丁目2	斉藤学
		通所リハビリ テーション		横山雅樹
有限会社 ポプラ	グループホーム あじさい	認知症対応型 共同生活介護	旭川市春光 5区4-6	余湖波子
	ホームヘルプサービス在宅 介護サービスセンター	訪問介護		佐々木康子 宮本順一
有限会社 ライフサポート	グループホーム 愛あい	認知症対応型 共同生活介護	旭川市川端町 2条5丁目	棚田節子
有限会社 ときわ企画	グループホーム 陽	認知症対応型 共同生活介護	旭川市9条通 8丁目 2486-25	大辻美紀子 小只廣子
特定非営利法人 ぶどうの木	グループホーム ぶどうの木	認知症対応型 共同生活介護	旭川市忠和 7条3丁目4-31	内田暁 桜田薫
株式会社 ツクイ	ツクイ旭川雨紛	通所介護	旭川市神居 2条20丁目82-83	鴨林真子美
	東デイサービスセンター ツクイ	通所介護	旭川市東 2条2丁目	武内晴美
	ホームヘルプサービス 総合福祉ツクイ旭川東介護	訪問介護		武内晴美
社会福祉法人 旭川水芝会	サンハイム デイサービスセンター	通所介護	旭川市末広8条 5丁目5317-14	佐々木弦
医療法人社団 森山病院	通所リハビリテーション 事業所	通所リハビリ テーション	旭川市旭町2条 1丁目31	竹間大剛
アサリ観光 株式会社	デイサービスセンター E湯	通所介護	旭川市豊岡 13条6丁目4-8	浅利佳世
有限会社たいせ つ介護サービス	たいせつ介護サービス	訪問介護	旭川市春光台 1条2丁目	荒木関伸子

株式会社 北海道警備保障	さわやかサービスセンター	訪問介護	旭川市豊岡 1条1丁目	長田美鈴 左近美知子
特定非営利法人 ボランティア 杜の家	ボランティア杜の家 旭川事務所	訪問介護	旭川市10条通 21丁目1-12 ドエルたけや102	川村真人
有限会社 ラッキーホーム	ラッキーホーム 訪問介護事業所	訪問介護	旭川市6条通 18丁目90-13	笠原妙子

・協力実習期間における延べ実習数

◎介護実習・在宅サービス提供現場見学については、2日実習を3グループ実施しているため、延べ6日の実習に協力していただいている。

◎ホームヘルプサービス同行訪問については、1日実習を3グループ実施しているため、延べ3日の実習に協力をいただいている。

・実習中の指導体制・内容

実習指導者を中心に、施設の全職員の協力の下実施していただいている。なお、具体的な実習内容については、各施設と協議を重ねている。

【講師情報】

渡邊建司	旭川明成高等学校 教諭	高等学校「福祉」	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉の制度とサービス ・障害者（児）の制度とサービス ・リハビリテーション医療の基礎知識 ・ケア計画の作成と記録、報告の技術 ・基本介護技術
高橋恵子	病院勤務等経て、現在 株式会社 日総 総合施設長	看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉理念のケアサービスの意義 ・サービス提供の基本視点 ・住宅・福祉用具に関する知識 ・共感的理解と基本的態度の形成 ・基本介護技術
阿部めぐみ	保健師として役所勤務を経験	保健師	<ul style="list-style-type: none"> ・障害疾病の理解 ・高齢者、障害者（児）の心理 ・高齢者、障害者（児）等の家族の理解 ・医学の基礎知識 I ・在宅看護の基礎知識 I
鴨林真子美	施設での介護員を経て、現在 ツクイ旭川雨紛 所長	訪問介護員 2 級	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームヘルプサービス概論 ・ホームヘルパーの職業倫理 ・レクリエーション体験実習
堀田和代	病院勤務を経て、現在 ツクイ旭川雨紛 計画作成責任者	准看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・介護概論 ・介護事例検討 ・相談援助とケア計画の方法

【実績情報】

《3 級課程》

平成 11 年度 4 2 名

平成 14 年度 4 6 名

平成 12 年度 3 1 名

平成 15 年度 5 9 名

平成 13 年度 3 6 名

平成 16 年度 5 5 名

《2 級課程》

平成 17 年度 2 4 名

平成 18 年度 2 8 名

平成 19 年度 3 2 名

平成 20 年度 2 5 名

研修実施回数 1 0 回 研修延べ参加人数 3 4 6 名

<相談等>

受講の相談・その他講義の内容等に関わる相談については課程編成責任者が受付を行う。